

り入れたまちづくりをすすめます！

なまちづくりを目指して

● ユニバーサルデザインを進めるために

ユニバーサルデザインは「すべての人のためのデザイン」です。年齢、性別、身体的能力、言語などの違いを問わず、すべての人が暮らしやすいように「まちづくり」、「ものづくり」、「環境づくり」、「サービス」などを行っていかうとする考え方です。本市では、「ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくり」を今年度の重点施策の一つとして位置づけ、取り組んでいきます。

ユニバーサルデザイン推進施策体系

考え方の普及

普及・啓発に率先して取り組み、市民がユニバーサルデザインに関する情報に触れる機会を増やし、意識の浸透を図ります。
地域において先頭に立って推進する人材や組織を育成する活動を行います。



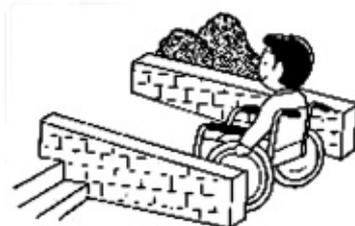
協働型地域づくりシステムの構築

高齢者・女性などすべての人が社会参加しやすい環境の整備や機会の確保、また誰もが参加でき、楽しむことのできるようなイベントへのユニバーサルデザインの導入を図っていきます。



安心・安全・快適なまちづくり

誰もが利用しやすい公共施設などの整備を進め、快適と感じる魅力あるまちづくりを進めます。
生活を便利にする身近な製品のユニバーサルデザイン化を図ります。



満足と納得ができるサービスの提供

すべての人に満足度の高い行政サービスの提供を徹底していきます。
行政情報は、すべての人が入手できるよう、複数の手段により分かりやすさを追求しながら提供していきます。



都留市はユニバーサルデザインを取

誰もが暮らしやすい豊かな

●ユニバーサルデザインの7つの原則

- ①誰にでも公平に利用できる ②使う上で自由度が高い ③使い方が簡単ですぐわかる



(例) 様々な人の利用を考え
設置高を変えている



(例) 音声機能付きのパソコン



(例) 差し込み方向を示す
カードの切り込み

④必要な情報がすぐに
理解できる

⑤うっかりミスや危険に
つながらない



(例) お湯が沸くと音が鳴る
やかん

⑥利用しやすい大きさ広
さである



(例) 階段やスロープなど十分な
スペースが確保されている

⑦無理な姿勢や力なしに使える



(例) 力がなくても使えるよう
に工夫されたフォーク



(例) ギザギザがついてい
て、触るとリンスと
区別できるシャンプ
ーボトル

●一緒になって進めよう

ユニバーサルデザインは、行政だけでは実現できません。幅広い市民の理解と、自主的な参加が必要です。

そこで、市民のみなさんにユニバーサルデザインを学んでもらおうと、市の職員が出張して説明をする講座も設けております。

どうぞご利用ください。(先月号の広報と一緒に配布しているふれあい講座一覧をご覧ください。)

また、地域の中でユニバーサルデザインを進める人材・団体を探しています。ユニバーサルデザインに興味のある方はご連絡ください。行政と市民が一緒になって取り組み、ユニバーサルデザインを進めていきましょう。

●やってみようユニバーサルデザイン (大切な心のユニバーサルデザイン)

こんなことがユニバーサルデザインのはじめの一步です。誰にでもすぐにできる「心のユニバーサルデザイン」を今日からみなさんはじめましょう。

- 困っている人を見かけたら、「大丈夫ですか」と一声かけよう。
- 電車やバスで、おじいちゃんやおばあちゃんに席を譲ろう。
- 目の不自由な人や、ベビーカーを押している人が困らないように、歩道に、自動車や自転車を置かないようにしよう。

問合せ先

政策形成課 政策担当(内線241)

Eメール seisaku@city.tsuru.yamanashi.jp